

薬 剤 情 報 No.30

令和5年6月15日(木)

1) 新規採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
サムタス点滴静注用 8mg (トルバプタンリン酸エステルナトリウム) V2-受容体拮抗剤 薬価:1,160 円/8mg1 瓶 大塚製薬	<効能効果>ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留 <用法・用量>16mg を 1 日 1 回 1 時間かけて点滴静注 <患者説明文>心不全によるむくみを改善する注射薬です	
ユリス錠 0.5mg・1mg (ドチヌラド) 選択的尿酸再吸収阻害薬 薬価:28.40 円/0.5mg1 錠 51.90 円/0.5mg1 錠 持田製薬	<効能効果>痛風、高尿酸血症 <用法・用量>1 日 0.5mg より開始し、1 日 1 回経口投与。維持量は通常 1 日 1 回 2mg。最大投与量は 1 日 1 回 4mg <患者説明文>痛風や高尿酸血症に用いるお薬です	

2) 仮採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
ケイキサレート散 5g/包 (ポリスチレンスルホン酸ナトリウム) 薬価:58 円/5g1包 鳥居薬品	<効能効果>急性および慢性腎不全による高カリウム血症 <用法用量>内服:通常、成人 1 日量 30g を 2~3 回に分け、その 1 回量を水 50~150mL に懸濁し、経口投与する。症状に応じて適宜増減。注腸:通常、成人 1 回 30g を水または 2%メチルセルロース溶液 100mL に懸濁して注腸する。症状に応じて適宜増減。 <患者説明文>血液中のカリウムを減らします	

3) 剤型・規格 変更/追加 医薬品

剤型変更追加・メーカー変更薬	既採用薬	備考
タリージェ OD 錠 5mg タリージェ OD 錠 2.5 mg	タリージェ錠 5mg	
パキロビッドパック 300 パキロビッドパック 600	パキロビッドパック	

4) メーカー変更医薬品・後発品変更医薬品

剤型変更追加・メーカー変更薬	既採用薬	備考
ホリゾン注射液 10mg	セルシン注射液 10mg	
フェブキシソスタット錠 40mg「DSEP」	フェブプリク錠 40mg	※オーソライズドジェネリック
アジルサルタン錠 10mg「武田テバ」 アジルサルタン錠 20mg「武田テバ」	アジルバ錠 10 mg アジルバ錠 20 mg	
エソメプラゾールカプセル 10mg「ニプロ」 エソメプラゾールカプセル 20 mg「ニプロ」	ネキシウムカプセル 10 mg ネキシウムカプセル 20 mg	

ブロムヘキシン塩酸塩錠 4mg「サワイ」	ブロムヘキシン塩酸塩錠 4mg「日医工」	※供給停止
イオパミドール 300 注 20mL「F」 イオパミドール 300 注 50mL「F」	イオパミドール 300 注 20mL「FF」 イオパミドール 300 注 50mL「FF」	※製造中止

5) 院外限定採用医薬品(剤型追加)

医薬品名	効能・効果	用法・用量
オゼンピック皮下注 2mg (セマグルチド(遺伝子組換え)) 薬価:11,008 円/2mg1.5mL1 キット 持続性 GLP-1 受容体作動薬 ノボルディスクファーマ	<効能効果>2 型糖尿病 <用法用量>通常、成人には、セマグルチド(遺伝子組換え)として週 1 回 0.5mg を維持用量とし、皮下注射する。ただし、週 1 回 0.25mg から開始し、4 週間投与した後、週 1 回 0.5mg に増量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週 1 回 0.5mg を 4 週間以上投与しても効果不十分な場合には、週 1 回 1.0mg まで増量することができる。	
マンジャロ皮下注 2.5mg アテオス マンジャロ皮下注 5mg アテオス (チルゼパチド) 薬価:1,924 円/2.5 mg 0.5mL1 キット 薬価:3,848 円/5 mg 0.5mL1 キット 持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬 日本イーライリリー	<効能効果>2 型糖尿病 <用法用量>通常、成人には、チルゼパチドとして週 1 回 5mg を維持用量とし、皮下注射する。ただし、週 1 回 2.5mg から開始し、4 週間投与した後、週 1 回 5mg に増量する。 なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週 1 回 5mg で効果不十分な場合は、4 週間以上の間隔で 2.5mg ずつ増量できる。ただし、最大用量は週 1 回 15mg までとする。	

医薬品名	効能・効果	用法・用量	備考
モーラスパップ XR120mg	割愛		※採用薬からの切り替え
ウラリット配合錠 ウラリット-U 配合散	割愛		※採用薬からの切り替え

6) 患者限定採用医薬品

医薬品名	効能・効果	用法・用量
ロケルマ懸濁用散分包 5g (ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物) 高カリウム血症改善剤 薬価:1,069.30 円/5g1 包 アストラゼネカ	<効能効果>高カリウム血症 <用法用量>開始用量 1 回 10g を水で懸濁して 1 日 3 回、2 日間経口投与(最長 3 日間まで)。以後は、1 回 5g 1 日 1 回。最高用量は 1 日 1 回 15g まで。血液透析施行中の場合は、1 回 5g を水で懸濁して非透析日に 1 日 1 回経口投与。最高用量は 1 日 1 回 15g まで。	
アジレクト錠 1mg (ラサギリンメシル酸塩) 選択的 MAO-B 阻害剤 薬価:953.80 円/1 錠 武田薬品工業	<効能効果>パーキンソン病 <用法用量>通常、成人にはラサギリンとして 1mg を 1 日 1 回経口投与する。	
ヤーズフレックス配合錠 (ドロスピレノン・エチニルエストラジオール ベータデクス) 子宮内膜症に伴う疼痛改善剤	<効能効果・用法用量> 子宮内膜症に伴う疼痛の改善:1 日 1 錠を経口投与する。24 日目までは出血の有無にかかわらず連続投与する。25 日目以降に 3 日間連続で出血(点状出血を含む)が認められた場合、又は、連続投与が 120 日に達した場合は、4 日間	

<p>月経困難症治療剤 薬価:280.10 円/1 錠 バイエル薬品</p>	<p>休薬する。休薬後は出血が終わっているか続いているかにかかわらず、連続投与を開始する。以後同様に連続投与と休薬を繰り返す。</p> <p>月経困難症:下記のいずれかを選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 日 1 錠を経口投与する。24 日目までは出血の有無にかかわらず連続投与する。25 日目以降に 3 日間連続で出血(点状出血を含む)が認められた場合、又は、連続投与が 120 日に達した場合は、4 日間休薬する。 <p>休薬後は出血が終わっているか続いているかにかかわらず、連続投与を開始する。以後同様に連続投与と休薬を繰り返す。・1 日 1 錠を 24 日間連続経口投与し、4 日間休薬する。以上 28 日間を投与 1 周期とし、出血が終わっているか続いているかにかかわらず、29 日目から次の周期の錠剤を投与し、以後同様に繰り返す。生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整:1 日 1 錠を、通常、14~28 日間連続経口投与する。</p>
<p>献血ノンスロン 1500 注射用 (乾燥濃縮人アンチトロンビン III) 血漿分画製剤(血液凝固阻止剤) 薬価:54,896 円/1,500 単位 1 瓶 武田薬品</p>	<p><効能効果・用法用量>本剤を添付の注射用水で溶解し、緩徐に静注もしくは点滴静注する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.先天性アンチトロンビン III 欠乏に基づく血栓形成傾向:本剤 1 日 1,000~3,000 国際単位(又は 20~60 国際単位/kg)を投与する。なお、年齢、症状により適宜減量する。 2.アンチトロンビン III 低下を伴う汎発性血管内凝固症候群(DIC):アンチトロンビン III が正常の 70%以下に低下した場合、通常、成人に対し、ヘパリンの持続点滴静注のもとに、本剤 1 日 1,500 国際単位(又は 30 国際単位/kg)を投与する。 ただし、産科的、外科的 DIC などで緊急処置として本剤を使用する場合には、1 日 1 回 40~60 国際単位/kg を投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。 3.アンチトロンビン III 低下を伴う門脈血栓症:アンチトロンビン III が正常の 70%以下に低下した場合、通常、成人に対し、本剤 1 日 1,500 国際単位(又は 30 国際単位/kg)を 5 日間投与する。本剤投与により血栓縮小傾向が認められた場合には、通常、成人に対し、本剤 1 日 1,500 国際単位(又は 30 国際単位/kg)の 5 日間投与を最大 2 回まで追加で行うことができる。 <p>※内科 ※特定生物由来製品</p>
<p>セルニルトン錠 (セルニチンポーレンエキス) 前立腺疾患治療剤 薬価 17.70 円/1 錠 扶桑薬品</p>	<p><効能効果>慢性前立腺炎、初期前立腺肥大症による次の諸症状(排尿困難、頻尿、残尿及び残尿感、排尿痛、尿線細小、会陰部不快感)</p> <p><用法用量> 1 回 2 錠, 1 日 2~3 回経口投与する。</p> <p>症状に応じて適宜増減する。</p>
<p>ビンマックカプセル 61mg (タファミジスカプセル) TTR 型アミロイドーシス治療薬 薬価:36,021.60 円/1 カプセル ファイザー</p>	<p><効能効果>トランスサイレチン型心アミロイドーシス(野生型及び変異型)</p> <p><用法用量>通常、成人にはタファミジスとして 1 回 61mg を 1 日 1 回経口投与する。</p>
<p>ボンビバ静注 1mg シリンジ (イバンドロン酸ナトリウム水和物) 骨粗鬆症治療剤 薬価:4,020 円/1mg1mL1 筒</p>	<p><効能効果>骨粗鬆症</p> <p><用法用量>通常、成人にはイバンドロン酸として 1mg を 1 カ月に 1 回、静脈内投与する。</p> <p>※整形外科</p>

大正製薬	
ベセルナクリーム 5% 250mg1 包 (イミキモドクリーム) 外用抗ウイルス薬 薬価:1,098.90 円/5%250mg1 包 持田製薬	<効能効果・用法用量>尖圭コンジローマ(外性器又は肛門周囲に限る):疣贅(ゆうぜい)部位に適量を1日1回、週3回、就寝前に塗布する。塗布後はそのままの状態を保ち、起床後に塗布した薬剤を石鹸を用い、水又は温水で洗い流す。 日光角化症(顔面又は禿頭(とくとう)部に限る):治療部位に適量を1日1回、週3回、就寝前に塗布する。塗布後はそのままの状態を保ち、起床後に塗布した薬剤を石鹸を用い、水又は温水で洗い流す。4週間塗布後、4週間休薬し、病変が消失した場合は終了とし、効果不十分の場合はさらに4週間塗布する。 ※皮膚科 他院処方継続
ラグロス NF 経口ゼリー分包 12g (ラクツロース 6.5g/包含有) 生理的腸管機能改善剤 高アンモニア血症用剤 薬価:42.50 円/12g1 包 三和化学研究所	<効能効果・用法用量>慢性便秘症(器質的疾患による便秘を除く):通常、成人には本剤 24g(本剤 2 包)を1日2回経口投与する。症状により適宜増減するが、1日最高用量は 72g(本剤 6 包)までとする。高アンモニア血症に伴う症候の改善:通常、成人には本剤 12~24g(本剤 1~2 包)を1日3回(1日量として本剤 3~6 包)経口投与する。年齢、症状により適宜増減する。産婦人科術後の排ガス・排便の促進:通常、成人には本剤 12~36g(本剤 1~3 包)を1日2回(1日量として本剤 3~6 包)経口投与する。年齢、症状により適宜増減する。
フェブキソスタット錠 40mg「DSEP」 (フェブキソスタット) 高尿酸血症治療剤 薬価:22.00 円/1 錠 第一三共エスファ	<効能効果・用法用量>痛風、高尿酸血症:通常、成人にはフェブキソスタットとして1日10mgより開始し、1日1回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に増量する。維持量は通常1日1回40mgで、患者の状態に応じて適宜増減するが、最大投与量は1日1回60mgとする。がん化学療法に伴う高尿酸血症:通常、成人にはフェブキソスタットとして60mgを1日1回経口投与する。
ツムラ苓桂朮甘湯エキス顆粒	※薬剤部 他院処方継続

7) 削除医薬品

医薬品名	備考
ヘパリン Z 軟膏	製造中止
D ソルビトール末	製造中止
無水エタノール「ニッコー」	製造中止
インタールエアロゾル	製造中止 使用実績なし
ビソノテープ 2 mg	使用実績なし
モーラスパップ 240 mg XR	使用実績なし
ビンダケルカプセル	処方変更につき使用患者なし
ツムラ苓桂朮甘湯エキス顆粒	限定使用患者退院につき使用患者なし
セルシン注 10 mg	ホリゾン注 10 mgに変更
フェブリック錠 40 mg	オーソライズドジェネリックに変更
アジルバ錠 10 mg・20 mg	オーソライズドジェネリックに変更
ネキシウムカプセル 10 mg・20 mg	オーソライズドジェネリックに変更
プロムヘキシン塩酸塩錠 4mg「日医工」	「サワイ」に変更
イオパミドール 300 注 20mL・50mL「FF」	「F」に変更

8) がん化学療法レジメン追加について

なし

9) その他

ウログラフィン削除取り消し

10) 効能効果等の改訂のお知らせ (2023.3~2023.5)

5FU 注	治癒切除不能な進行・再発の胃癌に対する効能等追加
エルプラット点滴静注液	胃癌で使用する A 法の用法等追加
エンハーツ点滴静注用	化学療法歴のある HER2 低発現の手術不能又は再発乳癌に対する効能等追加
アメンアリーフ錠	再発性の単純疱疹に対する効能等追加
カロナール錠 カロナール細粒	各種疾患及び症状における鎮痛への適応拡大

11) 禁忌・併用禁忌・使用上の注意の改訂のお知らせ (2023.3~2023.5)

【改訂部分のみ記載】

ACE 阻害剤 ARB ARB 配合剤	【特定の背景を有する患者に関する注意】「妊娠する可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与する旨の注意事項」追記
エンレスト	【特定の背景を有する患者に関する注意】「妊娠する可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与する旨の注意事項」追記
アサコール ペンタサ	【重大な副作用】「中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群)」「薬剤性過敏症候群」追記
ノベルジン	【重大な副作用】「胃潰瘍」追記
ビクシリン	【重要な基本的注意】「定期的に肝機能検査を行う旨」追記 【重大な副作用】「肝機能障害」追記
イスコチン リファジン エサンブトール 硫酸ストレプトマイシン レボフロキサシン	【重要な基本的注意】「薬剤逆説反応に関する注意喚起」追記

12) 院内副作用報告 (2023.3~2023.5)

【当院処方事例のみ記載】

なし